







## 「令和3年版国土交通白書」について

本書の掲載内容に誤りがございました。ご迷惑をおかけしましたこととお詫びするとともに、以下のとおり訂正させていただきます。

※WEB ページ上に掲載されている内容につきましては、全て修正が反映されております。

該当箇所				修正内容	
部	章	節	頁	誤	正
はじめに				令和2年版 国土交通白書 はじめに	令和3年版 国土交通白書 はじめに
I	2	3	57	(1)女性活躍の遅れ 省略 しかし、諸外国と比較すると、 <b>就業者に占める女性の割合(51.8%)は大差ないものの、管理的職業従事者に占める女性の割合(13.3%)は低い水準である。また、上場企業の女性役員の割合は、8.4%</b> と、諸外国と比べて著しく低くなっている(図表 I-2-3-6)	(1)女性活躍の遅れ 省略 しかし、諸外国と比較すると、 <b>女性人口に占める女性就業者の割合(51.8%)は大差ないものの、管理的職業従事者に占める女性の割合(13.3%)は低い水準である。また、上場企業の女性役員の割合は、10.7%</b> と、諸外国と比べて著しく低くなっている(図表 I-2-3-6)
I	2	3	57	図表 I-2-3-5  <u>注)常用労働者100人以上を雇用する企業に属する労働者のうち、雇用期間の定めがない者における役職者。</u> <u>令和2年調査より推計方法などの変更があったため、経年比較には留意が必要</u> <u>資料)各年6月時点、厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より内閣府作成</u>	図表 I-2-3-5  <b>(注)左:常用労働者100人以上を雇用する企業に属する労働者のうち、雇用期間の定めがない者における役職者</b> <b>令和2年調査より推計方法などの変更があったため、経年比較には留意が必要</b> <b>右:調査時点は原則として各年7月31日現在。調査対象は、全上場企業。ジャスダック上場会社を含む</b> <b>「役員」は、取締役、監査役、指名委員会等設置会社の代表執行役及び執行役</b> <b>資料)左:各年6月時点、厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より作成</b> <b>右:東洋経済新報社「役員四季報」より作成</b>
I	2	5	74	(3)地球温暖化対策の現状 世界の温室効果ガス排出量は増加し続けており、2019年は、CO2 換算で591億tと過去最大を更新した。世界の平均気温については、長期的に100年あたり0.75°Cのペースで上昇している(図表 I-2-5-3)。 我が国のパリ協定に基づく温室効果ガス排出削減の目標は、「地球温暖化対策計画」(2016年閣議決定)において、2030年度の中期目標として、2013年度比で26%削減、長期目標として、温室効果ガス排出を全体としてゼロにする。すなわち、2050年カーボン・ニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すとして定められた。	(3)地球温暖化対策の現状 世界の温室効果ガス排出量は増加し続けており、2019年は、CO2 換算で591億tと過去最大を更新した。世界の平均気温については、長期的に100年あたり0.75°Cのペースで上昇している(図表 I-2-5-3)。 我が国のパリ協定に基づく温室効果ガス排出削減の目標は、「地球温暖化対策計画」(2016年閣議決定)において、2030年度の中期目標として、2013年度比で26%削減、長期目標として、 <b>2050年までに、80%の削減を目指すとした。</b>

該当箇所				修正内容	
部	章	節	頁	誤	正
I	3	1	109	コラム 旅行に行かずに旅行に行く！？～オンライン観光の可能性～ (まいまい京都様、FUJITAYA KYOTO 様、阿寒バス株式会社様へお話を聞いてきました！) 	コラム 旅行に行かずに旅行に行く！？～オンライン観光の可能性～ (まいまい京都様、FUJITAYA KYOTO 様、阿寒バス株式会社様へお話を聞いてきました！) 
I	3	1	110	コラム 旅行に行かずに旅行に行く！？～オンライン観光の可能性～ (まいまい京都様、FUJITAYA KYOTO 様、阿寒バス株式会社様へお話を聞いてきました！) 	コラム 旅行に行かずに旅行に行く！？～オンライン観光の可能性～ (まいまい京都様、FUJITAYA KYOTO 様、阿寒バス株式会社様へお話を聞いてきました！) 
I	3	1	120	図表 I -3-1-30  本線から浜SAに分流	図表 I -3-1-30  本線から浜松SAに分流
II	4	2	212	注6 <a href="https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/land_expropriation/content/001334720.pdf">https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/land_expropriation/content/001334720.pdf</a>	注6 <a href="http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/shoyushafumei/dai8/kettei2.pdf">http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/shoyushafumei/dai8/kettei2.pdf</a>

該当箇所				修正内容	
部	章	節	頁	誤	正
II	6	1	243	<p>図表 II-6-1-12 我が国LCC操縦士の年齢構成</p> <p>(人数) (令和2年1月1日現在) LCC: APJ, JJP, VNL, SJO, WAJ</p> <p>操縦士数 : 687人 機長 : 338人 副操縦士 : 349人</p> <p>機長の多くが 数年で退職</p>	<p>図表 II-6-1-12 我が国LCC操縦士の年齢構成</p> <p>(人数) (令和2年1月1日現在) LCC: APJ, JJP, VNL, SJO, WAJ</p> <p>操縦士数 : 687人 機長 : 338人 副操縦士 : 349人</p> <p>機長の多くが 数年で退職</p>

該当箇所				修正内容																																															
部	章	節	頁	誤	正																																														
II	7	2	315		<p>(追加)</p> <p>⑥地方整備局及び北海道開発局の人員体制の確保</p> <p>国土交通省の現場を支える地方整備局及び北海道開発局は、災害からの復旧・復興や新たな社会資本整備などに努めてきたところであり、近年の激甚化・頻発化する自然災害の中で、その役割や地域からの期待も大きくなっている。一方で、地方整備局等の人員体制は、業務の効率化や定員合理化計画等により、平成13年の国土交通省発足以降、令和元年までに約7,000人(約23%)の人員が純減しており、その結果として、避難につながる迅速な情報提供や災害発生時の機敏な初動対応など、国民の命と暮らしを守るための的確な対応を行う上で多くの課題に直面している。こうした状況の中、令和元年東日本台風等数多くの自然災害への対応や、防災・減災、国土強靱化への取組等が認められ、令和2年度の地方整備局の定員は、国土交通省発足以降初めての純増となった。また、令和2年7月豪雨に際し、直轄の河川や国道への対応のみならず、被災した自治体へTEC-FORCEを派遣し、排水活動や被災状況調査等の支援を行ったほか、さらには、九州地方整備局に「八代復興出張所」を新設し、権限代行制度を活用したインフラの復旧事業を迅速に実施し、令和3年度の地方整備局の定員は、前年度に引き続き純増、北海道開発局については、国土交通省発足以降初めての純増となった。引き続き、防災・減災、国土強靱化の最前線を担う地方整備局等について、必要な人員体制を確保していく。</p> <div data-bbox="1263 838 1678 1126" data-label="Figure"> <p>図表II-7-2-15-2 地方整備局・北海道開発局の定員推移</p> <table border="1"> <caption>地方整備局・北海道開発局の定員推移 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>定員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成13</td><td>34,000</td></tr> <tr><td>平成14</td><td>33,000</td></tr> <tr><td>平成15</td><td>32,000</td></tr> <tr><td>平成16</td><td>31,000</td></tr> <tr><td>平成17</td><td>30,000</td></tr> <tr><td>平成18</td><td>29,000</td></tr> <tr><td>平成19</td><td>28,000</td></tr> <tr><td>平成20</td><td>27,000</td></tr> <tr><td>平成21</td><td>26,000</td></tr> <tr><td>平成22</td><td>25,000</td></tr> <tr><td>平成23</td><td>24,000</td></tr> <tr><td>平成24</td><td>23,000</td></tr> <tr><td>平成25</td><td>22,000</td></tr> <tr><td>平成26</td><td>21,000</td></tr> <tr><td>平成27</td><td>20,000</td></tr> <tr><td>平成28</td><td>19,000</td></tr> <tr><td>平成29</td><td>18,000</td></tr> <tr><td>平成30</td><td>17,000</td></tr> <tr><td>平成31</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>令和1</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>令和2</td><td>22,000</td></tr> <tr><td>令和3</td><td>23,000</td></tr> </tbody> </table> <p>※各年度における年度末予算定員</p> </div>	年度	定員数	平成13	34,000	平成14	33,000	平成15	32,000	平成16	31,000	平成17	30,000	平成18	29,000	平成19	28,000	平成20	27,000	平成21	26,000	平成22	25,000	平成23	24,000	平成24	23,000	平成25	22,000	平成26	21,000	平成27	20,000	平成28	19,000	平成29	18,000	平成30	17,000	平成31	16,000	令和1	15,000	令和2	22,000	令和3	23,000
年度	定員数																																																		
平成13	34,000																																																		
平成14	33,000																																																		
平成15	32,000																																																		
平成16	31,000																																																		
平成17	30,000																																																		
平成18	29,000																																																		
平成19	28,000																																																		
平成20	27,000																																																		
平成21	26,000																																																		
平成22	25,000																																																		
平成23	24,000																																																		
平成24	23,000																																																		
平成25	22,000																																																		
平成26	21,000																																																		
平成27	20,000																																																		
平成28	19,000																																																		
平成29	18,000																																																		
平成30	17,000																																																		
平成31	16,000																																																		
令和1	15,000																																																		
令和2	22,000																																																		
令和3	23,000																																																		